**２０１7年（平成２9年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野名 | **Ⅱ-2　資源循環型社会の構築** | 施策No. | **13** | 施策名 | **廃棄物排出量の削減** |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **目的、内容** | リデュースとリユースの推進により使用済みとなるものの発生量を削減することで、廃棄物排出量を削減する。  2020年度目標：一般廃棄物の最終処分量をさらに削減する（32万トン以下）  産業廃棄物の最終処分量をさらに削減する（37万トン以下）  大阪府循環型社会推進計画の2020年度目標：一般廃棄物排出量278万トン、産業廃棄物排出量1,534万トン | | | | | | | | | | | |
| **副次的効果、外部効果等** | ①資源効率性の向上による、環境への負荷の低減。  ②焼却処理量の削減により、温室効果ガス排出量、ダイオキシン類排出量の削減に資する。大阪府地球温暖化対策実行計画（2015年3月策定、2020年度まで）において  一般廃棄物の廃プラスチックの焼却量（2020年度２１万トン）を対策指標として掲げている。 | | | | | | | | | | | |
| **関係法令、行政計画等** | 循環型社会形成推進基本法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源有効利用促進法、各個別リサイクル法、大阪府循環型社会形成推進条例  大阪府循環型社会推進計画（2016年6月策定、2020年度まで） | | | | | | | | | | | |
| **国等の政策、社会情勢等** | 2013年5月、国は「第3次循環型社会形成推進基本計画」を策定。2R（リデュース・リユース）の取組がより進む社会経済システムの構築等を掲げる。 | | | | | | | | | | | |
| **（参考）**  **「講じた施策」に記載した施策事業コスト** | 2014年度（決算額）（千円） | | | | | | | | 2015年度（決算額）（千円） | | | 2016年度（決算見込額）（千円） |
| 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 |
| ※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。 | | | | | | | | | | | |
| **取組指標及び実績**  （施策効果の定量評価） |  | | 名称 | | 把握方法 | | | | | 実績 | | |
| ① | | 一般廃棄物の排出量 | | 毎年度の一般廃棄物処理実態調査により把握。 | | | | | 2014年度318万トン（府民1人あたり983g/日）  2015年度315万トン（府民1人あたり970g/日）  201６年度309万トン（府民1人あたり955g/日）[速報値] | | |
| ② | | 一般廃棄物の最終処分量 | | 毎年度の一般廃棄物処理実態調査により把握。 | | | | | 2014年度３９万トン  2015年度３８万トン  2016年度３６万トン[速報値] | | |
| ③ | | 産業廃棄物の排出量 | | 産業廃棄物処理実態調査により把握。直近は2014年度（概ね5年ごとに実施）。 | | | | | 2010年度1,450万トン、2014年度1,518万トン | | |
| ④ | | 産業廃棄物の最終処分量 | | 同上 | | | | | 2010年度47万トン、2014年度38万トン | | |
|  | | | | | | | | | | | |
| **工程表の進捗状況** | 工程名 | | | | | 進捗状況※ | 主な事業の名称 | | | | 事業の実施状況 | |
| [生産流通] | 再生原料・間伐材等の利用促進 | | | | |  |  | | | |  | |
|  |  | 生産工程における廃棄物発生原単位の抑制（多量排出者制度の活用） | | | | ☆☆ | 多量排出事業者制度の推進 | | | | 多量排出事業者の廃棄物処理計画、実施状況報告書の提出を指導。排出抑制の取組みを計画し、実績を公開。  府所管域計画策定事業者数（工場･事業場）：のべ186事業所（2016年度） | |
|  |  | 建設工事における廃棄物発生抑制 | | | | ☆☆ | 多量排出事業者制度の推進 | | | | 同上  府所管域計画策定事業者数：延べ141事業者（2016年度） | |
|  |  | 流通段階での排出削減 | | | | ☆☆ | 府内市町村の「エコショップ制度」の周知啓発 | | | | 各市町村事業として取組している制度をホームページで周知 | |
|  |  | レジ袋の削減 | | | | ☆ | 循環型社会推進計画の推進 | | | | 毎年10月の「３Ｒ推進月間」に、「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施し、キャンペーン参加店舗では、レジ袋削減、簡易包装の推奨などの取組を実施 | |
| [生産流通] | 製造業者による取組の促進 | | | | | ☆ | 循環型社会推進計画の推進 | | | | 「おおさかリサイクル情報」のホームページで、製造業者の取組を促進 | |
| [消費] | 3Rの徹底 | | | | |  |  | | | |  | |
|  |  | レジ袋の削減 | | | | ☆☆ | 環境にやさしい買い物キャンペーン | | | | 毎年10月の「３Ｒ推進月間」に、レジ袋削減、簡易包装を推進する「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施。  店舗参加数：2014年度 4,548店舗、2015年度 4,442店舗、2016年度 4,320店舗 | |
|  |  | 中古住宅流通・リフォーム市場の拡大 | | | | ☆☆ | 大阪府住宅リフォームマイスター制度 | | | | 住宅建築関係団体等との協働で、住宅リフォームに関するアドバイスや、一定の基準を満たす住宅リフォーム関係事業者の情報提供などを実施 | |
|  | ※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗 | | | | | | | | | | | |
| **評価** |  | | | 評価 | | | | 理由等 | | | | |
| 施策目的の達成状況 | | | 一般廃棄物、産業廃棄物とも順調に進捗している | | | | 一般廃棄物の取組指標①は、2014年度318万トン、2015年度315万トン、201６年度309万トンであり、減少している（大阪府循環型社会推進計画の2020年度目標は278万トン）。  取組指標②は、2014年度39万トン、2015年度38万トン、2016年度36万トンであり、減少している（大阪府循環型社会推進計画の2020年目標は32万トン）。  産業廃棄物の取組指標③の最新の実績（2014年度）はその前の実績（2010年度）と比べほぼ同じで、取組指標④の最新の実績（2014年度38万トン）はその前の実績値と比較して大きく改善している。 | | | | |
| 事業・工程の進捗状況 | | | 概ね想定どおり | | | | 進捗状況については、一部計画以下の箇所が見受けられるものの、概ね計画とおり。 | | | | |
| **計画見直し又は改善事項** |  | | | 見直し・改善点の有無 | | | | 見直し・改善点の内容等 | | | | |
| 目標 | | | 無 | | | |  | | | | |
| 施策の方向・主な施策 | | | 有 | | | | 「資源循環型社会の構築」分野以外である食品流通段階での取組み、食品としての有効活用などの食品ロス削減対策について、環境総合計画への位置付けを今後検討 | | | | |
| 工程表 | | | 有 | | | |
| その他の改善事項 | | | 無 | | | |  | | | | |
| **関係課室** | 循環型社会推進室、環境管理室、住宅まちづくり部、環境農林水産総務課 | | | | | | | | | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **環境総合計画部会委員による点検（所見）** | 点検評価手法の適正さについて | 評価結果について | 計画の見直し又は改善方針について |
| おおむね妥当と判断いたしますが、「目的、内容」欄に記載の通り、２０２０年度の達成目標として、一般廃棄物の最終処分量を設定しているのであれば、この指標を「取り組み指標」として取り上げるべきではないでしょうか？※修正対応済（事務局） | おおむね妥当と判断いたしますが、２０１４年～２０１６年の評価であるにもかかわらず、進捗状況の実績欄で、各年の数値が明示されていない項目があります。可能な限り、定量的な数値を記載いただくように希望します。※修正対応済（事務局） | 見直し・改善点として記載されている、「資源循環型社会の構築分野外の食品ロス削減の取組」との表現が不明確でわかりにくいです。わかりやすい表現を希望します。※修正対応済（事務局） |